

「チャレンジデー2022」に参加 ペタンク大会開催

5月25日（水）、佐世地区連合寿朗会では「チャレンジデー2022」に合わせ、佐世交流センターふれあい広場で、8チーム27名が参加し「第21回佐世地区連合寿朗会ペタンク大会」を開催しました。

今年度初めての連合寿朗会の大会ということもあり会員のみなさんは、それぞれのチームで会話を楽しみ・声援をかけながら競技されていました。大会を通じチャレンジデーの取り組み目的である「日常生活の中で運動する楽しさ」を体験されたと思います。



－大会結果－

優勝 大ヶ谷A
(笠間一雄、落合孝吉、板持友子)

準優勝 上佐世B
(永井昭光、森山忠治、長妻和夫)

第三位 上佐世A
(福島友治、日野敏夫、梶井豊則)



ふれあいゲートボール大会開催

“好天の中、元気いっぱい楽しくプレーしました。”

6月23日（木）、検温・アルコール消毒などコロナ感染防止対策をしっかりと行い、佐世交流センターふれあい広場で、「ふれあいゲートボール大会」が開催されました。今年の梅雨入りは例年より一週間遅く、6月14日に梅雨入りしたものの快晴の日が続き、開催当日も梅雨とは思えない日差しの強い中、参加された4チーム24名の皆さんは監督の作戦のもと、チーム一丸となり、コミュニケーションをとりながらプレーを楽しめました。



－大会結果－

優勝 上佐世チーム

準優勝 下佐世Aチーム

第3位 下佐世Bチーム

第4位 西阿用チーム

善意に感謝します

【一般寄付】

日 野 敏 夫 様 (表佐世自治会)

【玉串料返し】

土 屋 卓 夫 様 (川筋自治会)

【香典返し】

佃 昂 樹 様 (表佐世自治会)

ありがとうございました

皆さまからのご寄付は、佐世地区活性化のために役立てさせていただきます。

8月・9月行事予定

8月
5日(金) 佐世こひろば七夕飾り作り(総務部)
7日(日) 水辺の教室(地域振興部)
12日(金) 夜間パトロール(青少年育成連絡会)
18日(木) 佐世子育てサロンぽっぽ(福祉部)
21日(日) 幼稚園・小学校除草奉仕作業(総務部・地域振興部)
22日(月) 大東町地域自主組織連絡協議会(総務部)
23日(火) 松江高専による工作講座(生涯学習部)
26日(金) 佐世小学校始業式
下旬 総務部会

9月
8日(木) 佐世子育てサロンぽっぽ(福祉部)
21日(水) 大東町地域自主組織連絡協議会(総務部)
29日(木) 佐世地区連合寿朗会女性部料理教室
下旬 学校づくり懇談会(地域振興部)
下旬 総務部会



佐世交流センター お盆の休館について
令和4年 8月15日(月)～16日(火)

但し、会館貸出し業務は通常通り行います。
ご迷惑をお掛け致しますがよろしく
お願いいたします。



～みどりあふれる中でなごやかに暮らせる郷 佐世～

佐世 かわこ だより

No.74
令和4年7月29日

発行：佐世地区振興協議会
TEL&FAX (0854)43-2110
E-mail: sase-c@hotmail.co.jp

福祉部

サロンスタッフ交流会開催

6月28日（火）サロンスタッフ交流会を開催し、13自治会サロン22名の出席がありました。

「コロナ禍のサロンについて」と題し、コロナを正しく恐れることや、サロンを開催するときの留意点などについて、雲南市社会福祉協議会大東支所の福留睦巳さんにお話していただきました。そのあと次の項目について意見交換をしました。

- ①各サロンの現状や課題について
- ②サロンでは、どんなことをしているか？
- ③目指す姿について

『スタッフも参加者も負担が少なく長く続くサロン～いい加減～』

出席されたスタッフの方は、10数年サロン運営にかかわってこられた方から今年初めてサロンにかかわられた方などで、それぞれ思い描くサロンのイ



メージや実情は、みんな違っていています。

いろいろな立場でお話していただき、どれも納得できる内容でした。お互いの実情を受けとめ、刺激にもなった交流会で、「コロナが心配で開催していなかったけれど、様子を見て、再開しようという気になりました。」「やり方が参考になり出席して良かった。」と言う方もいらっしゃいました。

総務部・地域振興部

幼稚園・小学校周辺の環境整備作業

大東ライオンズクラブのみなさまご協力ありがとうございました。

5月22日（日）朝6時30分から、総務部員（自治会長）と地域振興部員に加え、今回は大東ライオンズクラブ会員のみなさま14名の応援をいただき佐世幼稚園・佐世小学校周辺の草刈り奉仕作業を行いました。

快晴で朝から気温が高い中、草刈り・草寄せ・運搬などみなさん手慣れた手順で、園庭・校庭周辺は見違えるほどきれいに整備されました。近頃は園児・児童も少なくなりPTAだけでは作業が大変なことから、佐世地区振興協議会では総務部員（自治会長）と地域振興部員が合同で年2回、幼稚園・小学校の草刈り作業協力を行っています。

綺麗に整備された環境の中で、子どもたちが健やかに成長することを願いながら、2回目の環境整備作業は、二学期始業式前の8月21日（日）に計画しています。





四葉会

一人暮らしの方との交流会

7月6日（水）佐世ボランティアクラブ四葉会では、75歳以上のひとり暮らしの方と、昼間ひとり暮らしの方との交流会を、該当の方17名と民生児童委員、四葉会会員などが集まり佐世交流センターで開催しました。コロナ対応のため、開催時間を2時間以内とし、窓を開け、椅子の間隔も空け、会食なしで行いました。その代わり家に帰られてからの昼食にと、会員が炊き込みご飯を炊いておみやげにしました。

タクシーで皆さんが順次到着されると、児玉早苗会長のあいさつで始まりました。

お楽しみ会では、まずは城山自治会の石原キヨコさんによる「祝い酒」の舞踊。見事な舞に目を見張ります。「それで御年何歳ですか？」と真っ先に年



齢を聞かずにはおれません。年齢がわかると、驚きの声があがりました。

続いて、海潮の藤原淳男さんによる「岸壁の母」。戦争で戦地に送り出した息子と思う母の思いを、流れるような語り口で語られ、当時のことを思い出す皆さん。

戦後生まれの会員からは、「戦時中、赤紙を受取られた方々の気持ちを考えると、涙が出そうになりました。おりしもロシアとウクライナの戦争を毎日ニュースで目にしている今日。平和を願わずにはいられません。劇中、時折ジョークを交えた話術に笑い声も聞かれ、楽しい時間でした。」との感想が届きました。

あっという間に11時。「もっとお話したかったのでは？」「席が離れていて話づらかったのでは？」などと思いましたが、コロナのため致し方ないこと。でも皆さんとても喜んでくださり、思い切って開催して良かったと、会員一同しみじみ思いました。



総務部

「佐世っこひろば」スタッフと児童との対面式を行いました。

6月2日（木）午後3時から、今年度お世話になる「佐世っこひろば」ボランティアスタッフのみなさんに小学校ランチルームに集まっていただき、児童の見守り方についてのミーティングを行いました。午後4時からは「佐世っこひろば」に参加する児童全員が集まり、スタッフとの対面式を行いました。

対面式には、昨年度から引き続きお世話をいただく18名のスタッフのみなさまと、新たに登録していただいた2名のスタッフさんの総勢20名と、「佐世っこひろば」を利用する1年生から6年生までの児童約50人が参加しました。

対面式は山本校長先生のお話から始まり、スタッフの皆様の自己紹介、児童代表からは見守りに対するお礼の挨拶のあと、児童全員による元気な声での「よろしくお願いします」のことで終わりました。このあと児童は宿題を見てもらったり、遊びを見て



もらうなど、スタッフとの交流に大喜びでした。

「佐世っこひろば」は子どもの居場所事業として、平成19年度から取り組みを始め継続して実施しています。この事業は「学年の違う子ども同士の交流や、地域の子どもと大人たちとの交流により、こどもたちが人との付き合い方について学びながら、思いやりの心を育て、地域の中でよりよく育っていく」ことをねらいとして、ボランティアスタッフのみなさまのご協力をいただきながら毎週木曜日の放課後に行っています。



生涯学習部

芋苗植え交流

6月6日（月）佐世幼稚園の園児4名と寿朗会の皆さん、生涯学習部員が参加し、園舎横の畑で芋苗植え交流会を行いました。

寿朗会の皆さんにマルチに穴を開けてもらおうと、園児は苗を大事そうに土の中に植えて行き、60本の芋苗は1時間程で植えることができました。

芋苗植えは、和やかな雰囲気の中行われ参加した皆さんは、秋にサツマイモが甘くて大きく実ることを期待して、交流会は終わりました。



ほたるウォーク

6月11日（土）佐世交流センターを午後7時30分に出発して、師弟公民館までの往復約6kmのコースを歩く「ほたるウォーク」を行いました。

当日は、親子連れの家族を含め、途中で蛍の姿を見ることはできませんでしたが、佐世川まで来ると、蛍がたくさん飛び見て見る蛍に感動する人や、スマホでし



約30名の出席がありました。せんでしたが、師弟公民館の近くの交う姿を見ることができました。初めに写真を撮る人もいました。

暗い中で蛍が浮かび上がる情景は幻想的で、異次元の世界に引き込まれるようなひと時を体験出来ました。

参加された方は、来年もまた蛍が見られるといいねと話されていました。

七夕飾りづくり交流

7月7日（木）佐世幼稚園の園児4名と寿朗会の皆さん、生涯学習部員が参加し、遊戯室で七夕飾りづくり交流会を行いました。

園児たちは、それぞれの願い事を書いた短冊を寿朗会の方に手伝ってもらいながら、笹竹にくくりつけていました。また、塗り絵やいろんな形の色紙を貼り合わせたオリジナルの飾りを楽しそうに作っていました。



寿朗会の皆さんも童心に帰って、色紙を切ったり、園児と一緒に短冊をつけたたりして、楽しい交流会となりました。

最後に、飾り付けられた笹竹の前で、こどもたちによる七夕の歌の披露がありました。皆で作ったことで、ほっとした気分になりながら、七夕飾りの完成を祝いました。

